

開講学期	前期	曜日・講時	水 9～10	時間割番号	0010311
科目分野	教養科目群・生活と社会[Liberal Arts Courses・Living and Society]				
科目名	社会学入門[Introduction to Sociology]				
ナンバリング					
担当教員	渡邊 克典 [WATANABE Katsunori]				
単位数	2	対象学生・年次			
<b>授業の目的</b>					
社会学の基本的な考え方を理解し、「社会とのかかわり方」を身につけるための基礎知識の修得を目指します。					
<b>授業の概要</b>					
「社会とのかかわり方」について、人びとが経験する「出生」「学ぶ／教える」「働く」「結婚・家族」「若い・病い」「死」の6つのトピックを取り上げながら紹介していきます。それぞれのトピックについてキーワードや社会学の基礎概念を取り上げ、振り返り課題を通じて理解を深めていきます。現代の社会問題についての受講者の理解を助けるためにVTR資料などの視覚教材も用います。					
<b>キーワード</b>					
出生、学ぶ／教える、働く、結婚・家族、若い・病い、死					
<b>到達目標</b>					
1. 現代社会を理解するためのキーワードについて、意味内容を説明することができる。 2. 社会学の基礎的な概念について、具体的な事例を用いて説明することができる。 3. 現代社会の課題について、社会学の概念を用いて論述することができる。					
<b>授業の計画</b>					
1. イントロダクション、「社会を理解する」というかかわり方について 2. 人と「社会」とのかかわり方(教科書 序) 3. 出生① なぜ子供が生まれなくなっているのか(教科書 第1章) 4. 出生② 妊娠、出産という経験はどのように変わっているのか(教科書 第1章) 5. 学ぶ／教える① なぜ学ぶことが「義務」になっているのか(教科書 第2章) 6. 学ぶ／教える② 学校という場所はどのような場所か(教科書 第2章) 7. 働く① 「働くこと」の社会的位置づけ(教科書 第3章) 8. 働く② 「社会」のなかで働くこと(教科書 第3章) 9. 結婚・家族① 近代化は家族をどう変えてきたのか(教科書 第4章) 10. 結婚・家族② 家族であるとはどのようなことか(教科書 第4章) 11. 若い・病い① 統計学は医療とどうかかわってきたか(教科書 第5章) 12. 若い・病い② 病むこと・老いることとはどのような経験か(教科書 第5章) 13. 死① 社会学は自殺をどのように扱ってきたか(教科書 第6章) 14. 死② 社会において「死」とはどのようにみえるか(教科書 第6章) 15. 科学・学問としての社会学(教科書 第7章) 16. 学期末試験					
<b>教科書</b>					
社会学入門——社会とのかかわり方／筒井淳也・前田泰樹:有斐閣, 2017, ISBN:9784641150461					
<b>参考書</b>					
社会学／数土直紀・山田真茂留編:勁草書房, 2025, ISBN:9784326967063, <a href="https://kinoden.kinokuniya.co.jp/tokushima-u/bookdetail/p/KP00117206/">https://kinoden.kinokuniya.co.jp/tokushima-u/bookdetail/p/KP00117206/</a> 社会学事典／日本社会学会社会学事典刊行委員会編:丸善, 2015, ISBN:9784621082546, <a href="https://elib.maruzen.co.jp/elib/html/BookDetail/Id/3000017955">https://elib.maruzen.co.jp/elib/html/BookDetail/Id/3000017955</a>					
<b>教科書・参考書に関する補足情報</b>					
参考書は適宜紹介します。					
<b>成績評価方法・基準</b>					
小テスト形式による振り返り課題(30%)、学期末試験(70%) ※ 教養教育履修の手引より:授業時間数の3分の2以上出席していなければ、学期末試験の受験資格を失います。					

<b>再試験の有無</b>	
無	
<b>受講者へのメッセージ</b>	
授業の中で取り上げるテーマについて、新聞・インターネットニュース等でも積極的に情報収集することを心掛けてください。	
<b>自学自習(予習・復習)のアドバイス</b>	
予習:教科書の該当部分を読んでください。 復習:トピックごとの振り返り課題に取り組んでください。また、教科書内のコラムやブックガイド、授業内で紹介する参考文献等を活用して理解を深めてください。	
<b>準備学修に必要な時間の目安等</b>	
大学の講義は、1単位を修得するにあたり、教員が行う授業時間に加え学生が予習や復習などの授業時間外に学修する時間と合わせて45時間の学修を必要とします。	
<b>WEB ページ</b>	徳島大学 LMS(manaba)を活用します。
<b>連絡先(E メールアドレス, オフィスアワー)</b>	(学生用連絡先) 総合科学部 1 号館南棟 1 階 S22 (メールアドレス) k-wtnb@tokushima-u.ac.jp (オフィスアワー) 水曜日 PM.2:30-PM.3:30 総合科学部 1 号館南棟 1 階 S22
<b>備考</b>	徳島大学人と地域共創センター「公開授業」 徳島大学大学教育委員会「高校生対象公開講座」